

白洲正子と歩く琵琶湖

湖水編 - 湖水の祈り・暮らし・美 -

開催日時 水曜日 13:30~15:30
8/24、31、9/7、14

近江の中心に横たわる琵琶湖は、類まれな自然であると同時に、天台仏教を始めとする、日本文化の基層を育んだ、文化的な自然でもあります。この琵琶湖の魅力に惹かれ、白洲正子は度々近江を訪れ、その想いを数々の作品を通して紹介しました。これまで、琵琶湖の文化については、「白洲正子と歩く琵琶湖シリーズ」として、江南編・江北編と続けてきましたが、今回の講座はその最終回として「湖水編-祈り・暮らし・美-」を開講し、白洲正子が感じた琵琶湖自体の文化を白洲正子の視線を借りながら、現地の画像と共に紹介します。

◆8月24日「水辺の祈り」主な舞台：竹生島・沖島・白鬚神社・長命寺等

日本人は、琵琶湖には水を司る神が居る、と感じ、ここに真摯な祈りを捧げてきました。琵琶湖の中、そして琵琶湖の周辺にある琵琶湖の神に対する祈りの聖地を紹介します。

◆8月31日「水辺の暮らし」主な舞台：湖北菅浦・海津・沖島等

近江の人達は古くから琵琶湖の畔に居を定め、琵琶湖の恵みを受け取る暮らしを続けてきました。その根底に流れる、琵琶湖という自然を敬い、共生する文化を紹介します。

◆9月7日「水辺の景色」主な舞台：近江八景・竹生島・沖白石・白鬚神社・居初氏庭園・彦根城玄宮楽々園等
琵琶湖が作り上げる水の景色は、浄土を思わせる美しさがあります。この琵琶湖の景観は、庭園という人工の景観を作り出すきっかけになったとも考えられます。水の造形を味わいます。

◆9月14日「白山比咩の旅」主な舞台：加賀馬場・越前馬場・美濃番場・己高山・琵琶湖

近江の信仰を特徴づけるものに十一面観音があります。加賀白山の白山比売が十一面観音となり、近江に至り、ここで琵琶湖を護る神となったその過程を『十一面観音巡礼』『かくれ里』から辿ります。

開催場所：大津市勤労福祉センター 5階 大ホール

講師：元滋賀県立安土城考古博物館副館長

NPO 法人歴史資源開発機構 主任研究員 大沼 芳幸 氏

受講料：4回分 3,000円（教材費含む）

※開催初日 8/24 に徴収させていただきます。

定員：先着順 45名

持ち物：筆記用具・マスク着用

申込期間：7月20日（水）AM8:40~8月19日（金）

申込方法：電話・FAX・互助会ホームページ（詳細は裏面へ）

※受付初日の窓口でのお申し込みは、ご遠慮いただきますようお願いいたします。

講師紹介

元滋賀県立安土城考古博物館副館長

NPO 法人歴史資源開発機構 主任研究員 大沼 芳幸 氏

びわ湖をめぐる文化史を考古・歴史・美術・民俗・漁業・環境等幅広い視点から研究成果の普及活動を行っている。特に、精神文化の視点から独特の城郭論を展開するほか、白洲正子の著作を通して、琵琶湖の文化の魅力発信にも力を入れている。

近著として『琵琶湖八珍―湖魚の宴 絶品メニュー』『白洲正子と歩く琵琶湖―江南編』『白洲正子と歩く琵琶湖―江北編』などがある。

申込方法

7月20日(水) AM8:40~8月19日(金) までに電話(077-522-7474 または 077-525-1105)、FAX(077-523-3494)【講座名、氏名、電話番号、FAX番号を記入】または大津市勤労者互助会ホームページ

(info@otsu-gojokai.jp) の講座申込フォームよりお申し込みください。

受講料・教材費は講座初日の8月24日(水)に徴収させていただきます。

FAX、ホームページからのお申し込みについては、申し込み後3日(土日祝祭日を除く)以内にそれぞれFAX、メールにて「受付完了」の連絡をいたします。

事務局からの返信がない場合(ホームページの場合は自動返信メールとは別途)は、受付が完了しておりませんので、お手数ですが事務局までご連絡ください。

※お申し込みが少数の場合は中止することがあります。

※やむを得ずキャンセルされる場合は必ずご連絡ください。

(受講料・教材費をいただく場合があります。)

問合せ先

大津市勤労福祉センター

場 所：大津市打出浜1-6

TEL：077-522-7474

または 077-525-1105

FAX：077-523-3494

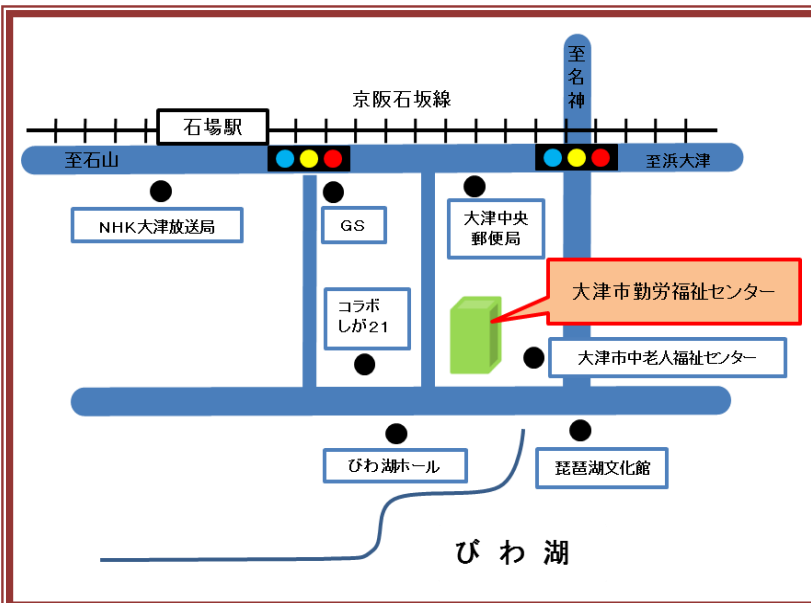
開館時間

月~土曜 午前9時~午後9時まで

日曜日 午前9時~午後5時まで

休館日 毎月第3日曜日、祝祭日、
年末年始(12/29~1/3)

地図



大津市勤労福祉センター 指定管理者(一財)大津市勤労者互助会